

沖縄カトリック中学高等学校 学校通信 <h1 style="text-align: center;">野ばら</h1>	発行 沖縄カトリック中学高等学校 〒901-2215 宜野湾市真栄原3-16-1 TEL 098-897-3300 http://www.catholic-okinawa.ed.jp/ 2011年9月1日
9月号	

主キリストを讃える若者たち

校長 夏見 隆晴

夏期休暇も終わり、学園は再び生徒たちの活気ある姿であふれています。わたし自身も元気な若者たちの姿に接し、主キリスト自らがわたしたちの学園を創設し、生徒やその保護者、そして教職員を呼び集めて祝福し、限りない愛を注いでくださっているのだと実感しております。そのような主キリストへの賛美こそが、学園の精神的基盤とならなければならないと、わたしたちは考えています。

休暇に入る前の7月9日、本校では恒例の合唱コンクールが行われました。優勝は、高校三年生が「虹」を見事に歌い上げて獲得いたしました。受験勉強で忙しい中、短い時間での練習であったとは思いますが、クラスが一つになってこの曲を披露してくれたのが、聴き手と審査員の心をとらえたのでしょう。もちろん他の学年のコンクールへの取り組みも、賞賛されてしかるべきであったと思います。わたしは、音楽の根底には神への賛美があると考えています。それゆえわたしたちの学園では、普段からもっと歌声や楽器の音が響いてきてよいかとは願っています。

また夏期休暇中は、生徒たちにとって普段とは少し違った方法で、自分の才能を伸ばすことのできる時でもあります。学期中はなかなかまとまった時間が取れなかった運動クラブの生徒たちが、ユニフォーム姿でグラウンドに出て白球を追いかけている姿を見ると、かれらそのものが神を讃えるものであり、また主キリストによって愛されている存在であると考えざるを得ません。なかでも陸上部の活躍は、県大会や南九州大会そして全国大会にまでおよび、カトリック沖縄学園の名を高めてくれました。同時にわたしは、暑い中を毎日夏期講習に参加して、自己の才能を磨いていた皆さんの努力に賞賛の拍手を送ります。皆さんは、将来きっと世の中に出て人々のために役立つ人間となり、主キリストの光を世界に届けることのできる者になると信じているからです。

もう一つこの夏わたしを喜ばせてくれたことは、多くの卒業生が帰省を利用して母校を訪ねてくれたことです。それぞれが進学した大学や学校で元気に楽しく過ごしている様子を語ってくれる顔を見ていると、この人たちもまた神と人々から愛されている人間であると、初対面のわたしでさえ想えるのでした。

9月、生徒たちを迎えるにあたり、わたしたちは学園全体で研修会開き、一人一人の生徒はみな主キリストによって愛されたものであることを再確認し、学園に学ぶ誰もが「自分は愛されている」と感じてもらえるようにしていきたいと決意を新たにいたしました。



因果応報の理について思うこと

国語科 武内 篤司

「因果応報」を辞典で調べると、「過去における善悪の業に応じて現在における幸不幸の果報を生じ、現在の業に応じて未来の果報を生じること。」(『広辞苑』)とある。悪い結果を招いた場合に用いられる言葉として記憶する人も多いが、上記のとおり「善」も含まれることをまず認識したい。

そもそもこの言葉は仏教の根本原理でもある。その考え方は、何事によらずそれを生起させた直接の元を「因」、因によって生起したものを「果」とし、原因があれば、必ずそれに応じる結果を生じ、結果は必ずそれに見合う原因によって生じるというものである。であるならば、稀にたまたま上手くいったと言う場合であっても、それは本人の気づかない因によって生起した果と言えるのだ。

この因果応報の理をわきまえるならば、我々は現在をよく観察することで、過去が如何なるものであったか、またこれから先の未来がどのように展開するのかを知ることができるということになる。つまり、現在を結果としてみた場合、その原因であった過去の状態を察知することができ、また現在を原因としたとき、その結果としての未来が如何なるものかを予知できることになる。

さらに因果応報の理をわきまえれば、己の過去を反省し、己の未来を見通すことで、現在のあり方、正しい己のあり方を決定するという自律的な生き方を見いだせる。

我々教師は、生徒のあり方を見て過去の接し方を反省し、よりよい未来を想像し、現在のあるべき姿を教え諭す責任がある。親としてもまたこれに然り。子は自律した精神を模索しつつ、己のあり方について考え、因果応報の中で未来を獲得する。しかし、まだ幼い精神に対して、我々は我々がそうされてきたように、他力本願(これもまた深い意味のある言葉)すなわち努力するものへの援助、手助けを行い、「果」への一助としての役割を全うする責任がある。

ご報告
MAKE-A-WISH

7月16日(土)、パレット久茂地前広場にてメイク・ア・ウィッシュ街頭募金活動を行いました。総額151,871円の募金が集まりました。今後も本学園のモットーである「人への奉仕」を実践していきたいと考えております。ご協力いただいた方々に心から感謝申し上げます。



中頭地区陸上競技大会のご案内*****

第38回中頭地区中体連陸上競技大会が開催されます。本校も中学全校生徒が選手、応援団として参加します。保護者の皆様にも是非ご覧頂き、ご声援いただきたくご案内いたします。詳しくは後日通知文でご案内致します。

開催日： 9月30日（金）

場所： 県総合運動公園内陸上競技場

*詳細は後日文書通知いたします。



校内 English Festivalのご案内*****

夏休み前にお知らせいたしました通り、校内イングリッシュフェスティバルを下記の日時で行います。学んだ英語を用いて表現する指導の一環として開催いたします。応援よろしくお願いたします。

日時： 9月3日（土） 9：35～11：35

場所： 講堂

駐車場につきましては、生徒を通じてご連絡致します。



9月・後期初めの行事

9月3日(土)	イングリッシュ・フェスティバル
5日(月)	試験1週間前
7日(水)	16:20下校
10日(土)	家庭学習日
12日(月)～	前期期末試験
15日(木)	
16日(金)	答案返却
17日(土)	総合(パイルアッププラン) 中1制服採寸 中2修学旅行説明会 ベネッセ駿台模試(高3希望者)
21日(水)	委員会
24日(土)	家庭学習日 姉妹校キャロライン・チズム来沖(～29木)
28日(水)	委員会
29日(木)	終業式8:05～
30日(金)	地区陸上(中学生) Kパック過去問模試(高校生)
10月1日(土)	新学期開始サ 平和学習

おめでとう！

☆平成23年度全国高等学校総合体育大会（北東北大会）

陸上競技 男子円盤投げ 第9位 宇良宗松（高3）

☆第66回九州陸上競技選手権大会

ジュニア男子円盤投げ 第1位 宇良宗松（高3）

第4位 宇良宗三（高2）

ジュニア男子やり投げ 第9位 山城大地（高1）

☆第53回沖縄県中学校水泳競技大会

400m個人メドレー 第2位

200m個人メドレー 第2位

☆第39回九州中学校水泳競技大会

400m個人メドレー 第6位

200m個人メドレー 第7位

} 以上 二俣竣亮（中3）